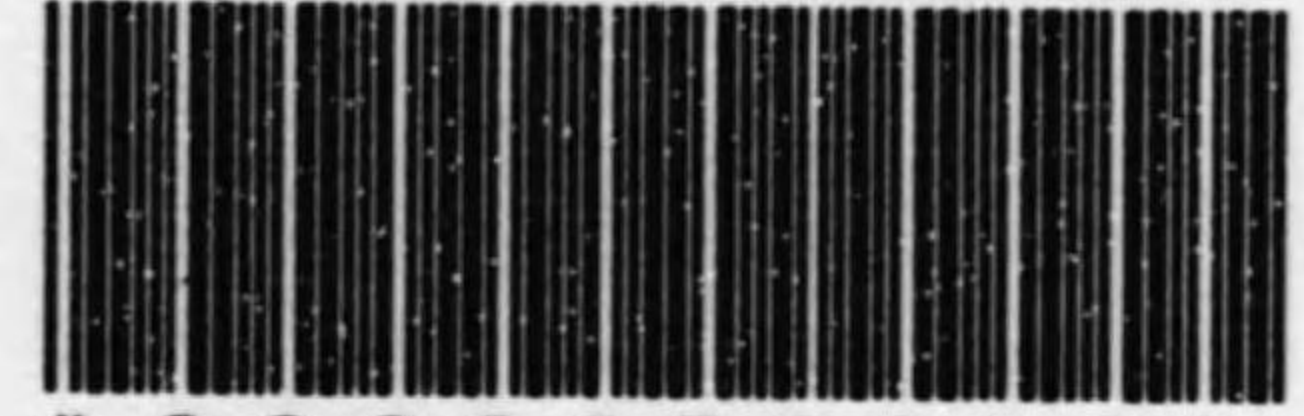


ウォール街

同盟通信社編

683
180



0028251000

0028251-000

683-180

ウォール街

同盟通信社・編

同盟通信社

昭11

ADI

ウォール街

683
180

法人團 同盟通信社

ウォール街

683
180

法人團 同盟通信社

ウ オ ー ル 街



法人 同盟通信社

近年國運の飛躍發展に伴ひ我國にも列強に劣らざる大組織の代表的通信社を必要とする最近の情勢に鑑み、且つ之が實現を急ぐ國家的要望に順應して全日本の有力新聞百社並びに日本放送協會によつて今回新に結成設立された公益自治機關であります。

同盟通信社は昭和十一年一月一日より新聞聯合社の設備及び事業一切を繼承して業務を開始しましたが、近く更に規模を擴充し少くとも東洋第一の強力通信社たるべく準備を整へつゝあります。

同盟通信社の蒐集するニュースは一月一日より同盟の名の下に全國の新聞に掲載されラヂオに放送されてをります。又經濟通信は同盟通信の題號の下にその内容を益々充實し正確と迅速とを期して我が國商工業者各位の御要求に副ふ覺悟であります。

は し が き

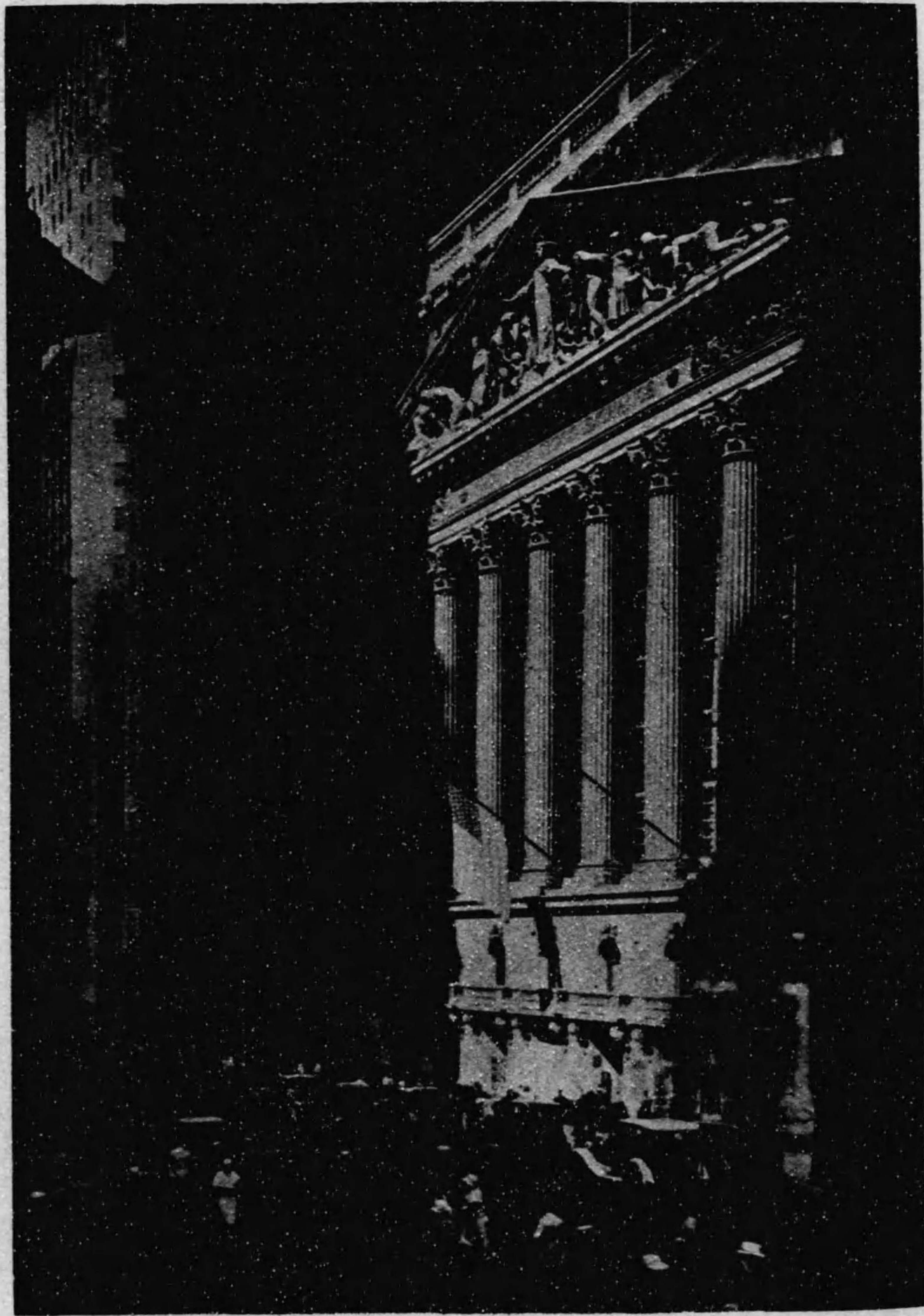
過去十年にわたり各位の御高覽を忝うして來ましたこの經濟小冊子は本年から新に設立された同盟通信社の名において發行することとなりました。どうぞ従來のとほり御愛讀と御叱正とを賜りたくお願い申し上げます。

同盟通信社の第一回小冊子としてクウォール街を選びましたのは新年の世界の景氣如何はやはりアメリカの財界から出發しさうな氣が致すからであります。冊子中にニューヨーク株式取引所の組織並びに取引の實狀について簡単な解説を書き添へましたが、日本の同業者各位に何等かの御参考ともならば幸ひこれに過ぎませぬ。

昭和十一年一月四日

法人 同盟通信社
塚 本 義 隆

693-180



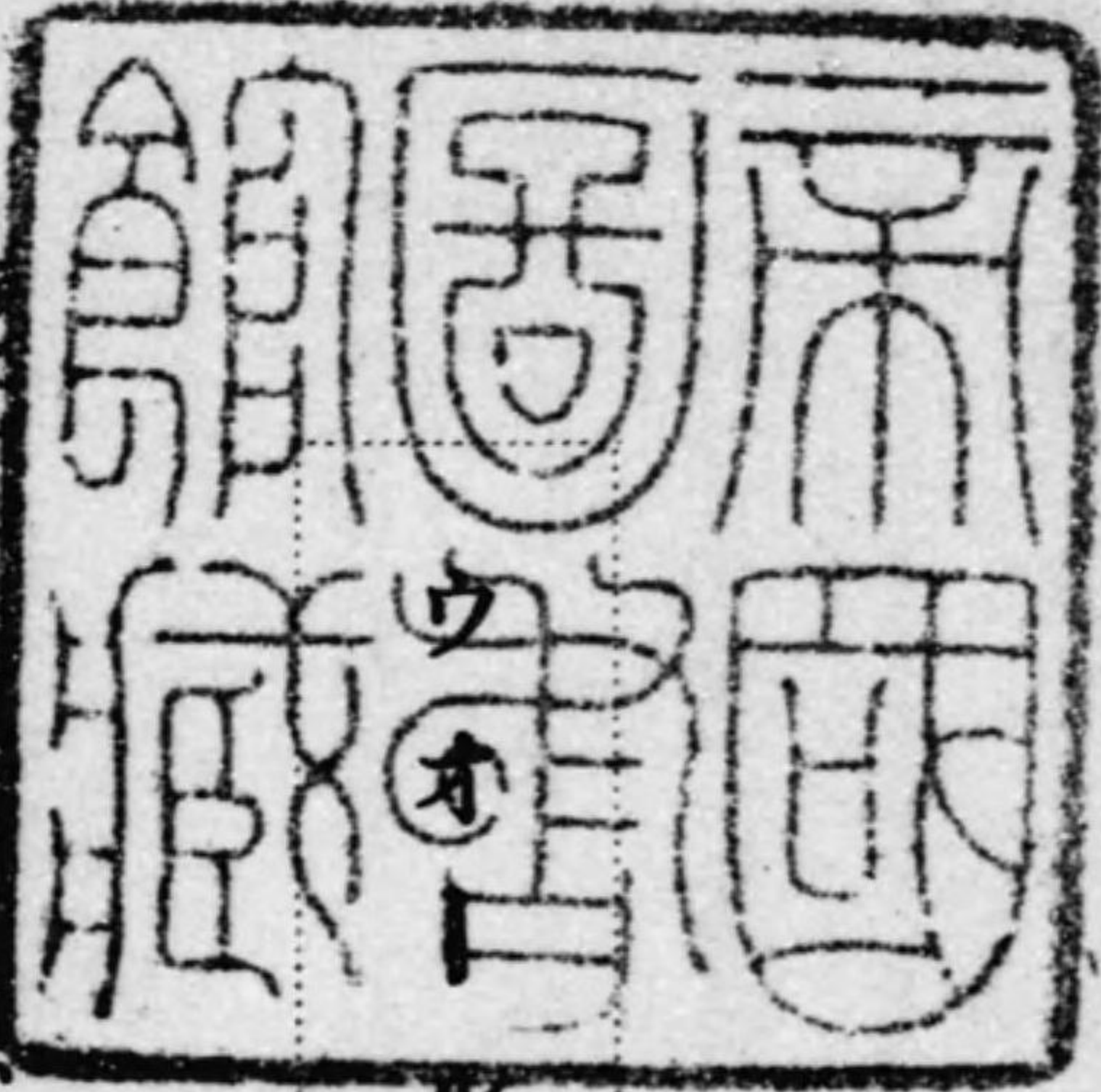
ニューヨーク株式取引所前面(道路を隔て、相對せるはモルガン商會)

目次

ウォール街とワシントン……………一頁
 一九三六年の景氣展望……………二
 ニューヨーク株式取引所……………二六
 株取の發達史……………二六
 その組織と會員……………三〇
 設備の一般……………三四
 仲買人とコール……………三七
 取引の實況……………三九
 不活潑部と債券市場……………四〇
 以上

ウォール街

社団法人 同盟通信社



ウォール街
ワシントン

時は一九一四年八月四日、イギリスが大戦に参加してから数時間後、サー・セシル・スプリングライスはワシントンからモルガンの所に電話を掛けて来た。直ぐ會ひ度いといふのである。

神経質なこのイギリス大使が鈍重なフィナンシアに會ふまでに世界は全く混亂に陥つて居た。株式取引所も既に扉を閉して居た。

ニューヨークのマチソン街の東にあるマレー・ヒルの彼の有名な圖書室に於て——此の部屋で

彼の父も多くの世界的金融問題を解決したのであるが——モルガンはスプリングライス(Springle Rice)から英帝國の現状とその緊急な必要事に就て説明を聴いた。ダウニング街は一つの質問に對するモルガンの返答を聞かんとしてゐたのである。『モルガン氏は、財政上にも商業上にも、その全權勢を以てイギリス政府を援助して呉れないだらうか。契約、手数料などの決定は後廻しにして。』

『よろし。』

モルガン(J.P.Morgan)は即座に答へた。

それから丁度二十年経過した。一九三三年五月廿三日、アメリカ全國の諸新聞は突如としてジエー・ビー・モルガンその他ウォール街の大立物が續々上院査問委員會の取調席へ呼び出された事を報じた。

『全くサーカスだ、』と査問委員の一人なる上院議員グラスが云つたが、それに違ひない。道具

は全部具はつて居る。取調べを續行して居る室内には、熱心な聴衆、寫眞班、記者團がぎつしり詰め掛け、擴声器まで具へ付けてあるのだ。

ジョン・ピエルポント・モルガンとその一黨を執拗に訊問して居るのが、當年五十二歳のシンリー生れの法律顧問フェルヂナンド・ペコラ(Ferdinand Pecora)である。一文字に結んだ口、ガツチリした顎、一癖ありげな面魂、白髪まじりの黒いカールした髪、鋭く抜目なく而かも丁寧で囁り付いたらそれこそ放さない訊問振り。

ロツクフェラーと共に大アメリカの屋臺骨を脊負ふ大財閥——『モルガン王國』の著者モーレーによれば彼の支配下にある諸會社の總資産は總計七百四十億ドルに達するといふ。それが何故に斯く取調べられ、恥を天下に曝さなければならなかつたか。それはその莫大な黄金力を利用して政界、財界の知名な士と結託し、ウォール街を自由に操縦して利得を擅にしたといふ嫌疑である。更に外債引受けに當つてモルガンとその一黨が、手数料として收得した巨額の金額を隠匿して大脱税を敢行したといふ罪狀も擧げられた。

然し上院査問委員会としては、ウォール街の大財閥が、一九二八、二九年の株式ブーム時代、又之れに續いて起つた恐慌時に際して、國家と民衆の利益を犠牲にして私腹を肥やしつゝあつた事實を洗ひ出し、恐慌の水源を淨めんとする目的があつた。が、政治的には、過去十餘年に亘つて結ばれた共和黨とウォール街との腐れ縁を曝かんとする意圖もあつたであらう。

それから暫くルーズヴェルト政府のウォール街征伐が続いた。ナショナル・シティ銀行の取締役會長チャールス・ミツチエル(Charles E. Mitchell)が鎗玉に擧げられた。共和黨出の萬年大藏大臣でアメリカ屈指の大富豪たるアンドリュウ・メロン(Andrew W. Mellon)が七十八歳の老ひの身を以て取調べ席へ呼び出された。

證券取引取締法が作られた。新しい銀行法が出来、銀行業と證券業の兼營が禁ぜられた。ウォール街のフィナンシア連は最早や従來の儘では營業を許されなくなつた。その結果クイン・レーノ商会(Kuhn Loeb & Co.)——日本の外債引受に常に盡した金融業者——は證券引受業務に駛つたが、モルガン商会は資本金二千五百萬ドルの個人銀行として登録され、嚴重な銀行監督官の監

督に従はざるを得なくなつた。

曾てはワシントンを思ひの儘に踊らせて居たウォール街は、今や全くルーズヴェルト政権の壓力下に閉塞せしめられてしまつた姿である。

一九三五年が來た。民主黨は二回目の議會の選舉で又復大勝したので、ルーズヴェルト大統領は意氣揚々として新議會に臨んだ。然しこの時早やくも國民の多くは漸く自意識を取戻し、所謂ニュー・デイルに批判の眼を向けるまでに變つて來た。その昔共和黨の大立物だつたチャールス・エヴァンズ・ヒューズ(Charles Evans Hughes)を首席判事とする大審院はニュー・デイルの核心をなすNRAに違憲判決の大鐵槌を下した。ルーズヴェルトの議會に對する統制力は今まで程でなくなつた。ニュー・デイル(新政策)と言ふ旗印は今やニュー・オーダー(新秩序)と言ふ看板に塗り換へられた。

八月廿六日、紛糾を極めた第七十四議會が漸く休會に入つた當日、スクリップ・ハワード系新

閣下の親玉にしてルーズヴェルト大統領の支持者たるロイ・ハワード(Roy Howard)は一通の書簡を大統領に送った。『ニュー・デイルに興味を有する一人の中立的立場の操觚者として』左の如くアメリカ實業界の現状を述べ、大統領の考慮を求めたのである。

『實業界の或る分子が政府の政策に敵意を示しつゝある事は最早や事新しい事ではないが、この敵意が財界の腐敗分子から發したものであるならば、敢えて重視するに當らない。然し乍ら皆て閣下の誠實なる支持者たりし多くの實業家が、今や閣下に對して寧ろ恐怖を有するに至つた事は看過出来ない。これ等の人々は、(イ)最近の増稅案を以て閣下の財界に對する復讐策なりと目し、(ロ)閣下が、諸實驗を中止して財界に一休息を與へられるまでは財界の眞の恢復は望まれないと信するに至つた。』

これに對してルーズヴェルト大統領は詳細なる返書を送つて自身の政策を辯護したが、特に次の一句は記憶さるべきである。

『わが政府は成立當時廣汎なる立法計畫を樹てた。當時の國內情勢は正に峻烈遠大なる行動を

必要とするものであつた。而して政府と議會は能ふ限り迅速にこの目的達成に邁進するをよしとした。然し乍らこの基礎的計畫は今や實質的完成の域に達し、貴下の云はるゝ如き一休息の時期は正に到來したと考へる。』

大統領のこの返書はニューデイル休止の公式聲明として財界に非常な好感を與へた。而してこれは一九三六年秋の大統領選舉を控えて、財界の意を迎へんとする意圖より出たものと解された。ルーズヴェルト政権の一步後退は財界の一步前進を意味する。而してこれは一九三五年春以來の一般の景氣恢復と相俟つてウォール街の確信を強め、證券界は秋に入ると共に一段と活氣を増した。この波に乗つて、一九三二年以來全く閉塞して居たモルガン財閥も證券界に復活する事になり、九月十六日モルガン・スタンレー商會(Morgan, Stanley & Co.)なる證券専門の別働隊がウォール街二番地に店開きをした。

十一月中旬、ニュー・オルリンスに於て開催された全米銀行協會年次大會は更に政府に對する反撥の意氣を示した。一有力銀行家——ユタ國立銀行副頭取オーヴァル・アダムス(Orral W.

Adams) ——は政府の財政々策を猛烈に攻撃し、ニュー・デイルの無制限なる浪費を阻止する爲めに政府公債をボイコットすべしとまで極言した。これは聯邦準備制度理事會々長エツクルズ (Mariner S. Eccles) を憤激せしめ、彼は左の如き激越な口調でこれに應酬した。

『銀行家諸君は非正統的方法によつて一九三二年に自らの業務を破滅に導いた。而して政府は諸君の救世主として飛び込んだのだ。若し諸君が政府に對して銀行業務より手を引けといふのであれば、諸君は株屋に貸出しを行ふ代りに、政府に代つて國民に低利貸出しを行ふ用意があるか。』

銀行家連は沈黙してエツクルズの演説を聽いてゐたが、然し銀行協會第二副會長の選挙に入るや——果進昇格制度となつてゐるので第二副會長のみの選挙を行ふ——政府系銀行家を排して、前記のアダムスを選出して猛然反撥の意志を表示した。

著名の政治經濟評論家ダブリュー・エム・キツプリンガー (W. M. Kiplinger) によれば、今や

アメリカ實業家の八割まではニュー・デイルに反對してゐると。彼の分類によると——

- (1) 實業界 その八割までは既にニュー・デイルから去つた。然し今後の政策次第ではその中二割までは取戻せるであらう。
- (2) 農民 東部の農民は不満の意を示してゐる。然し西部農民は政府の政策に満足してゐるから、次の選挙でもルーズヴェルト大統領を支持するであらう。
- (3) 中産階級 全國の中産階級は政府の財政政策に失望してゐる。
- (4) 失業者 政府の救済を徳としてゐるが、而かも就業出来ない事實に不満がある。だから實業界方面で、ニュー・デイルは經濟界の回復を遅延せしめてゐると言明してゐる事が、失業者間にも反響し始めんとしてゐる。
- (5) 労働組合 半ば満足してゐる。引續きルーズヴェルト大統領を支持するであらう。

一九三三年、モルガン財閥の運命が、全米の話題に上つて居た當時、エツチ・エル・メンケン

(H. L. Mencken)はボルチモア・イーヴニング・サン紙上に次の如く寄書した。

『今回の上院査問委員会の取調べによつて明かにされた事は、モルガン商會が、一脈の人間の弱さを示したといふ丈だ。自分の見る所によれば、上院査問委員長フレッチャーが、郷里ジヤクソンヴィルの博物館に木乃伊となつて飾られ、ペコラが聯邦裁判所の判事となつた後までも、モルガンは依然として相變らず現物先物の公債を賣つたり、戦争を起したり、大統領を作り上げたり、優等不良の擔保をかたに金を貸したり、商會の友人達の世話をしたりし續けるであらう。』

このメンケンの説には異論のある者が多いであらう。然し乍ら今やウォール街がワシントンに對して漸く反撥力を回復し、而して一九三六年が彼等にとつてよき試験の年たるべき事は認めらるであらう。蓋し大統領選挙期が再び廻り來つたからである。

一九三六年の景氣展望

一般の見る所ではルーズヴェルト大統領が一九三六年十一月の大統領選挙の旗印として『景氣回復』を取上げる事は間違ひない。従つて景氣問題は政治的にも益々重要性を増して來るものと見られる。

選挙の見透しに就ては、消息通の意見によれば、ソリッド・サウス(民主黨の金城湯地たる南部諸州)の百三十五票は依然としてルーズヴェルトのものである。然しこれのみでは當選に必要な過半数には尙百三十一票足らない。従つて彼は保守的な東部産業地帯の獲得に努力するか、急進的な西部農業地帯の保持に努めるかする必要がある。而してその何づれを選ぶかによつて彼の財政策も自然變つて來る筈であるが、何づれにしてもルーズヴェルト大統領が選挙目的の爲めにも更に景氣煽揚策に出るであらう事は容易に想像出來る。

一九三二年の初め——アメリカが不況の底にあつた時、——フーヴァー政権はクリフレーションと稱へる控え目な信用膨脹政策を採用した。これはルーズヴェルト政権によつて繼承され、擴充された。この信用膨脹の目標に就ては會て明確な定義が下されなかつたが、第一には一九二六年の物價水準を回復する事、第二には一九二九年から一九三三年までのデフレーションによつて減少した預金額を取戻すのが目的であつたやうである。爾來アメリカは大體管理通貨制を採用するに至つたが、その管理の軌範とされて居た所は右の二を出でなかつた。そして今日までの成果を見るに——

- (1) 勞働省調査の物價指數は一九二六年を基準一〇〇として最低の六〇より現在の八〇に騰貴した。然し目標とされる所よりは尙二〇ポイント低い。
- (2) 報告加盟銀行の純預金は新最高水準に達して居り、従つて全國の當座預金も恐らく未曾有の多額に上つて居るであらう。

之れによつて見れば、アメリカの一般經濟界は今や不況より好況への中間にあるが、然し金融條件のみは目標を上廻つて居る事が窺はれる。この事實は多くの専門家によつて指摘されて居る所で、例へば全米商業會議所會頭ハーバー・シブレー (Harper Sibley) は十一月中旬の全米銀行協會大會に於て次の如く述べて居る。

『株式取引所に於ける上場債券價格は最近幾億ドルの昂騰を示し、利廻りは有史以來の低率となつた。最近の調査によれば上場株の總價格は不況の底より二百億ドル以上、又上場債券の總價格は七十五億ドル以上それ〴〵騰貴して居る。國民所得は一九二九年の八百億ドルから一時四百億ドル以下に減つたが、一九三四年には五百億ドルに、一九三五年には恐らく六百億ドル見當に達したであらう。我々は今や一九二九年の水準へ半ば復歸した譯である。』

次に金融條件であるが、商業銀行の預金はその最低時に比すれば約五割の増加を示して居る。それにも拘らず加盟銀行の準備は益々増加し、過剰準備は今や三十億ドルを突破した。(註、アメ

リカの銀行法によれば加盟銀行は定期預金に對して三分、當座預金に對して平均一割の準備を準備銀行に積立て、置かねばならぬ。現在の預金總額は定期、當座合計してざつと三百十億ドルで、これに對しては約廿七億ドルの準備を必要とするが、加盟銀行が、準備に積立て、居る準備總額は六十億ドルに上り、従つてこの差額約三十三億ドルが過剰準備となる譯である。即ち現在準備總額は法律によつて必要とされて居る額の二倍以上に達して居る。この事實は現在の預金總額三百億ドル以上の信用膨脹が可能な事を示すものであり、大々的インフレーションの素地が茲に潜在して居る譯である。

斯くてインフレーションの問題は今や愈々アメリカ財界に於ける最大關心事となつたが、これは一九三六年に於て事實問題として論議されるに至るであらう。既に去る十月中旬、ニューヨーク株式取引所理事長チャールズ・ゲー(Charles R. Gay)は或る大會に於て次の如く當業者の注意を喚起してゐる。

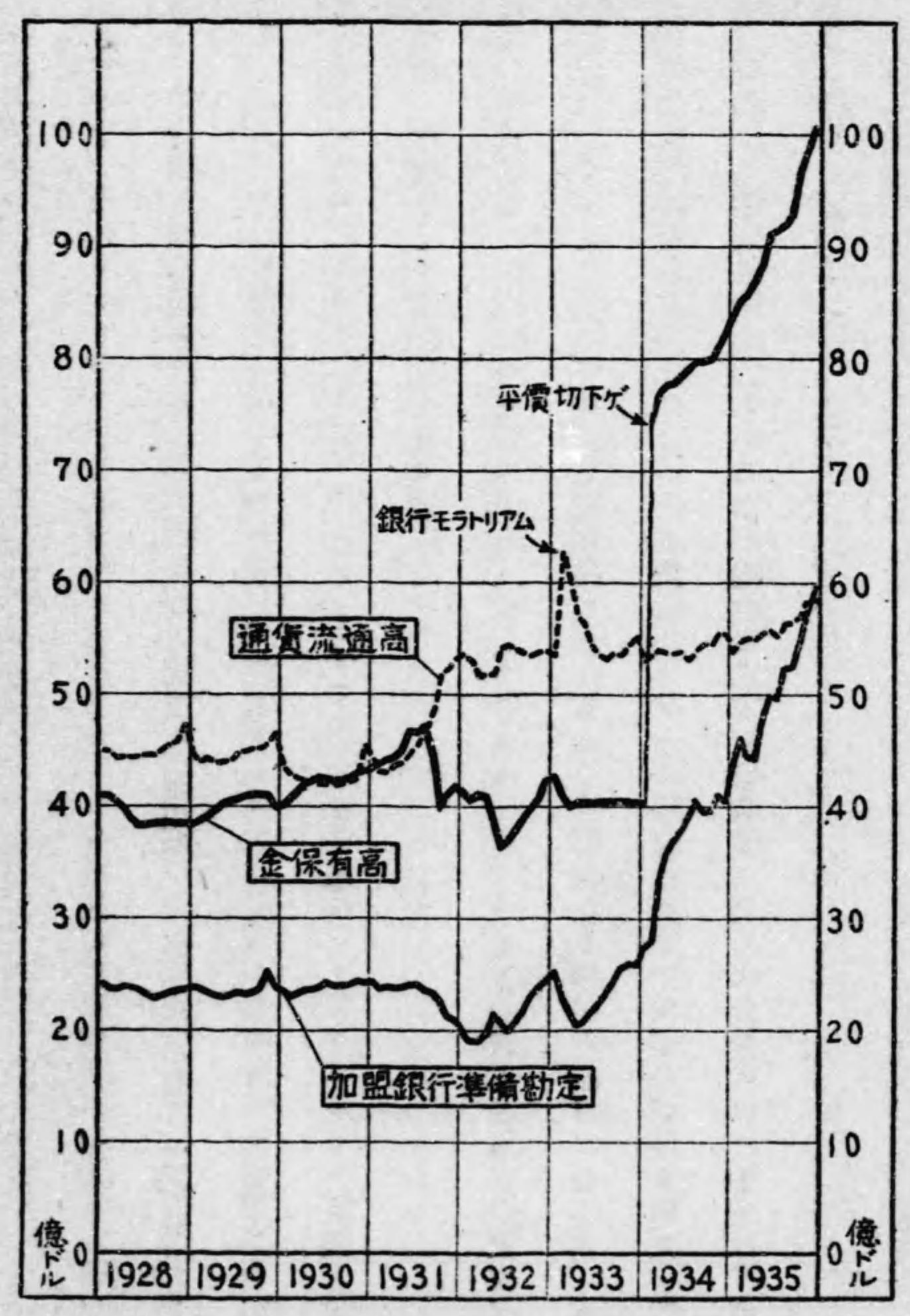
『余の今日最も力説したい事は、株式取引所、聯邦準備加盟銀行、證券取引取締委員が各々その最善を盡しても、その力の及ばない一大重要問題が茲に存在して居ると云ふ事だ。それは今や未曾有の巨額に上つて居る過剰準備の問題である。これは我々の力の範圍外にあり、一つに聯邦準備當局及び財務省の統制に俟たなければならぬ問題であるが、若し之れが適當に統制されない時は再び一九二九年の如きブームとその反動とが発生しないとも限らない。勿論余は今證券界に斯るインフレーションが進行しつゝありといふのでない。一九二九年に八十五億ドル臺に上つて居た株式仲買貸付が、一九三二年には僅々二億ドル臺に減り、最近稍々増加したと雖も尙八、九億ドルに過ぎない點から見て、斯る徴候は今の所未だ認められない。』

然らば如何なる理由で過剰準備は斯く空前の驚異的巨額に達したか。これに就ては消極的には貸付の減少も擧げられるであらう。然し主なる原因は何と云つてもドルの平價切下げ、金の流入及び政府の緊急支出である。而も最後の二原因は今尙容易に終熄の模様なく、一方に於て議會方面には依然として直接的通貨インフレの要望が高い。不換紙幣二十億ドルを發行して大戰出征軍人の恩給を即時支拂へといふバットマン案は又復議會のやかましい問題とならんとして居る。又

最近の銀價崩落の結果、所謂銀ブロック議員の策動も氣構へられて居る。

次に金の問題であるが、アメリカの金流入は過去一ケ年間に二十億ドルに近い多額に達し、その金保有高は今や百億ドルを超え、全世界の半分に近い金を占有するに至つた。百億ドルといへば日本の金保有高の正に二十五倍である。では如何なる理由で世界の金が斯くアメリカに流入しつゝあるか。最近アメリカの貿易出超は激減し、その受取勘定は貿易外の支拂勘定によつて殆ど相殺されて居る。従つて右の金流入が普通の貿易尻決済の爲めでない事は明かである。アメリカ金融恐慌當時海外に逃避したアメリカ資本の還流も想像されるが、假令それがあつても最近は大したものであるまい。従つて右金流入は主としてヨーロッパの政治的、財政的不安に基くアメリカへの資本逃避か、アメリカの景氣回復に伴ふ外國投資家のアメリカ證券買付を表はすものである事は間違あるまい。これに關聯して注目さるべきは、右の割合に諸外國の中央銀行の金準備がそれ程に減つて居ない事で、この點よりして最近流入しつゝある金は主として外國民間退藏

アメリカ通貨及び準備勘定



(備考) 金保有高及び通貨流通高は毎月末の數字
加盟銀行準備勘定は各月日々の平均

金でないかと想像される。

何づれにせよ、最近ニューヨーク株式市場に於けるヨーロッパ筋の証券買付が増加した事は事實である。仲買商方面の報告によると右は株取の賣買取引總高の一割以上(平常は二分見當)を占めて居るといふ。この事實は一部の不安を醸し、先頃ヨーロッパ視察から歸米した前證券取引取締役委員長ジョセフ・ケネディ(Joseph P. Kennedy)も十一月十四日ルーズヴェルト大統領と會見後、次の如く言明して一般の注意を喚起した。

『最近の株式市場の活況は外國資本の流入による所が多い。アメリカの當業者及び投資家は手持株を處分して利益を手に入れば重税を課せられるので、已むなく手持を續けて居るが、ヨーロッパ諸國は何時資本を引上げないとも限らない。その場合は必ずや相場の崩落を來たすであらう。一九二八年及び一九二九年の春に過度の思惑を抑制する爲めに發せられた警告は今尙有効である。』

このケネディの聲明は大統領との會見直後行はれた點より見て、略々大統領の意見を傳へるものと見られるが、然らば政府は果して過剰準備抑制の意圖を有してゐるのであらうか。元來過剰準備の抑制策としては次の如きものがある。

- (1) 公定割引率の引上げ、
- (2) 聯邦準備銀行手持公債の公開市場に於ける賣却、
- (3) 加盟銀行預金に對する準備必要額の引上げ(註、一九三五年の銀行法によれば現在の二倍まで引上げる權限が聯邦準備制度理事會に與へられてゐる。)

先づ準備の割引歩合引上げであるが、これは今日殆ど効果はない。現在では準備に手形の再割引を頼む銀行は殆どなく、準備の手許にある割引手形は、最近はたつた五百萬ドルに過ぎない有様である。第二の準備手持政府證券の賣り出しは相當効果がある。準備は現在二十四億ドルの公債を抱へてゐる。これを全部民間銀行に賣りつけ、それだけ銀行の資金を收縮させると過剰準備は九億ドルばかりに減らしてしまへる。第三は一九三五年銀行法に規定されてあるが、まだ一度

も試みられたことのない條項である。現在の法定準備額は定期預金に對して三%、當座預金に對しては中央準備市では一三%、準備市では一〇%、地方では七%となつて居り、この規定により現在加盟銀行がその預金に對して要求されてゐる準備額は概算二十六、七億ドルである。よつてこの準備率を二倍に引上げるとすれば三十三億の過剰準備はこれ亦六、七億ドルに減つてしまふ譯である。然し聯邦準備當局の意向如何に拘らず、若し政府がインフレーションを行ふと思へば押し切つて出来る事は勿論である。何故ならば、(イ)ドル平價切下げの益金二十八億ドルの使用によつて、(ロ)銀の通貨價值を引上げる事によつて、(ハ)一九三三年農事調整法トーマス修正條項の規定に基き不換紙幣を發行する事によつて、聯邦準備當局の政策を減殺出来るからである。

一方現状は、金の流入と政府の緊急支出で過剰準備は依然増加の傾向にある。而して、(イ)政府が豫算の均衡を計るか、(ロ)財務省と聯邦準備當局が相一致して抑制策に出るまでは、この増加傾向は續くであらう。さて然らば政府にその決意があるかといふに、政府はその干渉が景氣回復に影響するを懼れて成行を觀望してゐるやうである。十二月中旬に開かれた聯邦準備制度理事

會の公開市場委員會に於ても、『加盟銀行の過剰準備を吸収するが如き行動は、それが社會の利益なりと思惟されるまでは、一切これが採用を延期する』に決した。委員會の意見は左の通りである。

一、アメリカの經濟界、金融界は引續き回復を示して居るが、今尙充分に景氣回復を見たといふ事は出来ない。

一、聯邦準備制度の現在の第一目標は景氣回復促進の爲め一段の援助をなさんとするにある。

一、目下の所では經濟活動の過度の膨脹や、商工界の信用濫用の徴候はない。

一、依つて委員會としては、準銀の手持證券を賣出して過剰準備増加を抑制すべしとの案は、當分採用しないことに決した。

ニューヨークのジャーナル・オヴ・コムマース紙は、この間の情勢を次のやうな言葉を以て説明して居る。

『アメリカは今や一九二八年及び一九二九年當時と等しく、金融統制に對し新兩建政策(

“Straddle” Policy)を採用するに至つた。既に株式ブーム抑制に幾つかの方策が講ぜられた。最近のニューヨーク株取理事長ゲーの演説、ワシントンに於けるニューヨーク金融業者と聯邦準備當局及び財務當局との會合、前證券取引取締委員長ケネディの警告等々、何づれも右の意圖に出た事は云ふ迄もない。然しその反面に於て政府は經濟回復促進の凡ゆる方策を廻らしつゝある。最近ローバー(Daniel C. Roper)商務長官が更にニュー・デイル休息の恒久化を聲明した事、ルーズヴェルト大統領が豫算の節減を命じた事等はその現れである。斯くて一方には高く警報を掲げつゝ、他方に於て經濟回復策を講じてゐるといふのが現状であつて、この兩建政策は今後も暫く繼續されるものと見られる。』

斯う云ふ情勢の下にアメリカは新年を迎へたのであるが、一九三六年のアメリカ經濟界が更に回復の一途を辿るべきは殆ど何人も疑はぬ所である。

先づ保守的な銀行家の意見を聴かう。左記は一九三五年十一月中旬ニュー・オルリーンスで開

催された全米銀行協會年次大會に於て採擇された決議の一節であるが、この決議は景氣觀測者として著名なクリーヴランド信託會社副社長レオナード・アイヤース(Leonard P. Ayres)を主とする經濟政策委員會に於て起草されたものである。

一、アメリカの景氣は目覺ましい回復を示しつゝあり、一九三六年に於ては一九三五年よりも一段の進展が期待される。大統領選舉年度は不況なりとの云ひ傳へがあるが、右は眞實でない。この際政府が豫算の均衡に努力すれば民間企業に對する投資を促し、建築及び生産財工業は更に一段の回復を示すであらう。

一、目下各方面に於て論議されつゝあるインフレーションに就ては、これが一九三六年に於て起るものとは信しない。然し乍ら政府が大戦出征軍人の恩給其他の支出の爲め無準備通貨を發行したり、金融業者が思惑業者に對して融資を行ふやうな事があれば別であるが、斯くの如き事態は全然豫期されない。

又著名の政經評論家キップリンガー(W. M. Kiplinger)はレイモンド・モーレーの『今日』誌上

に於て左の如き観測を發表してゐる。

一、アメリカの經濟界は今一九三三年の不況の底から平常な状態へ至る道程の中程にある。ではその平常な状態は一九三六年中に達成されるであらうか、否、それは一九三七年若しくは一九三八年以前ではない。

一、何づれにしてもアメリカが一九三六年に於て更に一段と經濟的回復を辿るべきは間違ないが、その回復の程度は一九三五年に比し一割乃至一割二分見當であらう。

一、各分野に於ける回復程度を豫測するに、労働省調査の卸賣物價は現在の八二ポイントより一九三六年には八五ポイント平均見當に騰貴すべく、農民所得は一九三五年度より一割見當増加、工業生産指數は現在の八七ポイントより一九三六年は全體的に九五乃至九七ポイントに増加すべしと見られる。生産財工業は消費財工業よりも急速に回復すべく、自動車の生産は二割方増加するであらう。住宅建築は恐らく一九三五年の二倍に達するであらうが、然し平年よりは尙遙かに低からう。

一、信用インフレは目下進行中であり、一九三六年中續くであらうが、一九三六年中に物價構成に大した影響を及ぼすものとは信ぜられない。インフレの強度の影響は一九三七年及び一九三八年以前には現はれないであらう。

一、失業者は目下約一千萬人に上るが、一九三六年末までにはその中恐らく約二百五十萬人の就業を見るであらう。

一、一方ニューデイルに對する反対は一般に強まりつゝあり、特に實業界に於て然り。この結果ルーズヴェルト大統領の急進的政策は既に幾分緩和されて來たが、これは一九三六年に於て更に顯著となるであらう。

一、大統領選挙に就ては、ルーズヴェルト氏が再選さるべきは殆ど確實である。

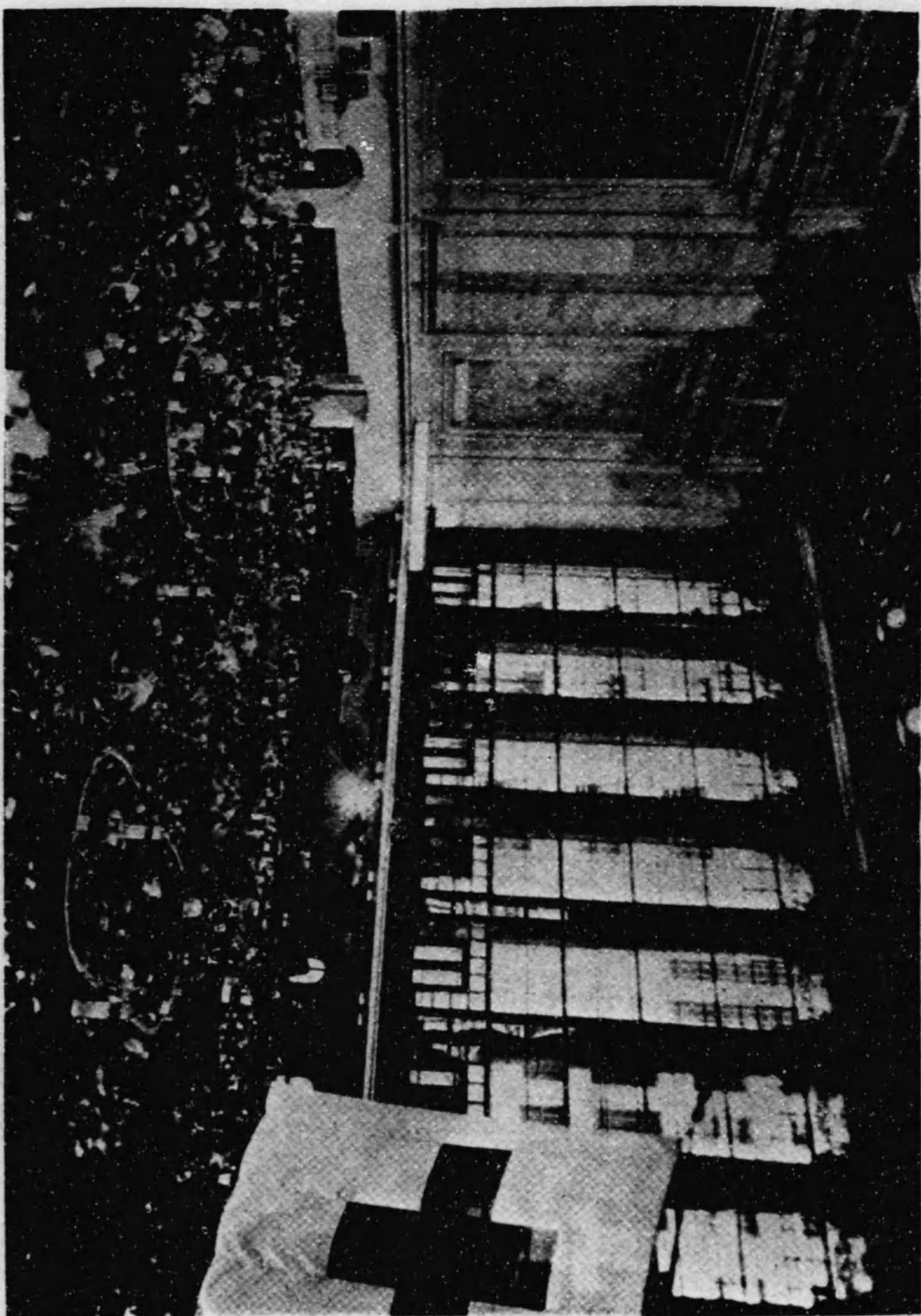
ニューヨーク株式取引所

株取の

發達史

ニューヨーク株式取引所の發達史はアメリカ經濟發展のローマンズの
一つである。

今から約百六十年前、アメリカが獨立するまでは、アメリカには證券
(債券、株式)といふものは事實上存在しなかつた。然し一七九〇年、第一次議會は八千萬ドルの
公債發行を政府に許可した。これは獨立戰爭當時の一般債務償還に充てる爲め發行される事にな
つたもので、當時にあつては驚異的巨額の公債であつたが、忽ち應募超過となつた。新共和國の



立會中のニューヨーク株式取引所場内

財政的必要は延ひて金融機關の設立を促し、フィラデルフィアの北米銀行、ニューヨークのニューヨーク銀行、次いで最初の財政長官として名聲赫々たりしアレキサンダー・ハミルトンの勸説によつて最初の國立銀行の設立を見るに至つた。而してこれら諸銀行の株式は一般公衆より公募された爲め、茲に市場の必要が起つたのである。即ち約十名の人々が前記政府公債及び銀行株に興味を有する投資家の爲め代理人又は仲買人として業務を開始する事となつた。これら當初の仲買人は現在のウォール街六十八番地の所にあつた鈴懸の樹(Buttonwood tree)の下に集つて賣買を行つて居たのであるが、こゝにニューヨーク株式取引所の起源は發してゐる。

一七九二年、これら仲買人の一團は——當時既に廿四人を數へて居たが——手数料及び仲買人相互間の取引に關する一つの規約を作つた。これがアメリカに於ける最初の株式取引所規約で、今尚ニューヨーク株式取引所に保存されてある。所で鈴懸の樹の下の取引では雨の爲に最寄りのコーヒー店に逃げ込まねばならぬ事が屢々起つた。一方に於て、一八一二年の第二次對英戰爭の爲め公債の増發を見、又國內産業の發達に伴れて、一般公衆の所有する債券及び株式の額は急激

に増加した。この結果延ひて證券取引も増加したので、一八一七年にウォール街四〇番地の貸室を借受けて正式の定款及び取引規約を定め、名も『ニューヨーク・ストック・アンド・エクスチェンジ・ボード』(New York Stock and Exchange Board)と呼ばれた。

續く半世紀間に於ては、國內産業の發達、一般公衆の株式に對する興味増大に伴ひ、市場も益々發展を見るやうになり、従つて市場も次ぎ／＼と大きい場所に移轉して行つたが、一八六三年の初めに至り取引所の名稱は『ニューヨーク・ストック・アンド・エクスチェンジ・ボード』より現在の『ニューヨーク・ストック・エクスチェンジ』(New York Stock Exchange)に變更され、次いでニューヨーク株式取引所建物會社の設立を見るに至つた。その結果取引所は始めて恒久的な建物を得る事となり、一八六五年に現在の場所に移轉したのであるが、その建物が今日の如き大建築物でなかつた事は云ふまでもない。

斯る間にアメリカの産業は急速な發達を示した。蒸汽力の利用、西部開發に伴ふ鐵道建設時代の出現により、多額の株式社債の發行が相襲いで行はれた。鐵道建設が當時アメリカに於ける經

濟發展上重要な地歩を占めてゐたと同様、當時の株式市場が殆んど鐵道證券市場化してゐた事も自然の成行であつた。然し乍らその後西部の各地に都市が興り、工場の建設を見るやうになると共に、更に新らしい企業が勃興した。最初に起つたのはガスの必要、次に電氣、それから電話である。その結果新らしい種類の證券——公共事業證券——の取引が發達し、これは爾來鐵道及び工業證券と共に重要な投資目的物とされるに至つたのである。

十九世紀の後半に至り製造工業の組織は大規模となり、延ひてこの方面よりの株式、社債の發行が急増した。この結果取引所は再び廣大な地域を必要とするやうになり、斯くて一九〇一年に現在の大立會場を含む大建築に着手したのである。現在の二十二階建は一九二二年に出來上つたのであるが、これは世界大戰後に於ける證券界の急激な發展に對處すべく建設されたものである。次いで一九二八年には隣接のブリーア・ビルディング及び商業電信ビルディングを買収、斯くてニューヨーク株式取引所はウォール街、ブロード街、エクスチェンジ・ブレース及びニュー・ストリートに圍まれた一區劃を占有するに至つたのである。

その組織
と會員

ニューヨーク株式取引所は云ふまでもなく會員組織で、會員は千三百七十五名（一九三五年一月一日現在内譯ニューヨーク在住千二百八十名其他九十五名）。その目的に就ては定款第一條に次の如く規定してある。

即ち『本取引所の目的は會員たる仲買人に對して必要なる立會場其他諸般の設備を設け使用に便し、會員間相互に商業上の名譽と德義を保持し、公正妥當なる商取引の本義を涵養増進せしめるにある。』

會員 會員總數は前記の如く千三百七十五名であるが、會員中には單獨のものもあれば、他の金融會社の組合員となつてゐる者もある。會員數には制限があるので、新らしく會員となる爲めには他の會員から會員權の讓渡しを受ける外ないが、これが非常に高く、一九二九年には六十二萬五千ドルの値が出たこともある。尤もその後恐慌の襲來と共に暴落したが、最近再び騰貴し十數萬ドル以上を唱へてゐる。會員たらんとする者は合衆國市民にして、會員二名の保證を要し、且つ會員資格審査委員十名以上の賛成を得なければならぬ。

諸委員會 取引所の行政は管理委員 (Governing Committee) がこれに當る。管理委員は理事長 (President)、會計長 (Treasurer)、會員四十名より成る。管理委員は取引所の重要問題を處理し、會員間の紛争を裁く。然し乍ら取引所の業務は複雑で全部管理委員で處理する事は困難である。依つて各種分科委員を選任して各その處理に當らせてゐるが、その主なる委員は左の通りである。

- 一、會員資格審査委員 (Committee on Admissions) 會員の入會申込み及び停止會員の復權請求を受理する。
- 一、仲裁委員 (Committee on Arbitration) 會員間、又は會員と非會員間の約定紛議を裁決する。但しこれに不服がある場合には管理委員へ訴へる事が出来る。
- 一、整理委員 (Committee of Arrangements) 建物及び諸設備の維持、使用人の一般的監督、取引所規則違反に關する事件の審理等に當る。
- 一、債券委員 (Committee on Bonds) 債券類の取引を監督する。

- 一、營業監視委員(Committee on Business Conducts) 會員對顧客の取引を監視し、顧客よりの苦情を處理する。
- 一、定款委員(Committee on Constitution) 取引所の定款變更に際し、これを研究し管理委員へ報告する。
- 一、財務委員(Finance Committee) 取引所の會計を監督する。
- 一、外國取引委員(Committee on Foreign Business) 在外會員の商行爲を監督する。
- 一、法律委員(Law Committee) 法律問題を調査し、必要な場合には理事長の顧問となり、取引所を代表して對外交渉に當る。
- 一、整理及び人事委員(Committee on Management and Personnel) 取引所の使用人を直接監督する。
- 一、端株及び特殊株委員(Committee on Odd Lots and Specialists) 一口百株以下の端株取引及び特殊株仲買人の取引方法を監督する規定を作り管理委員に提出する。

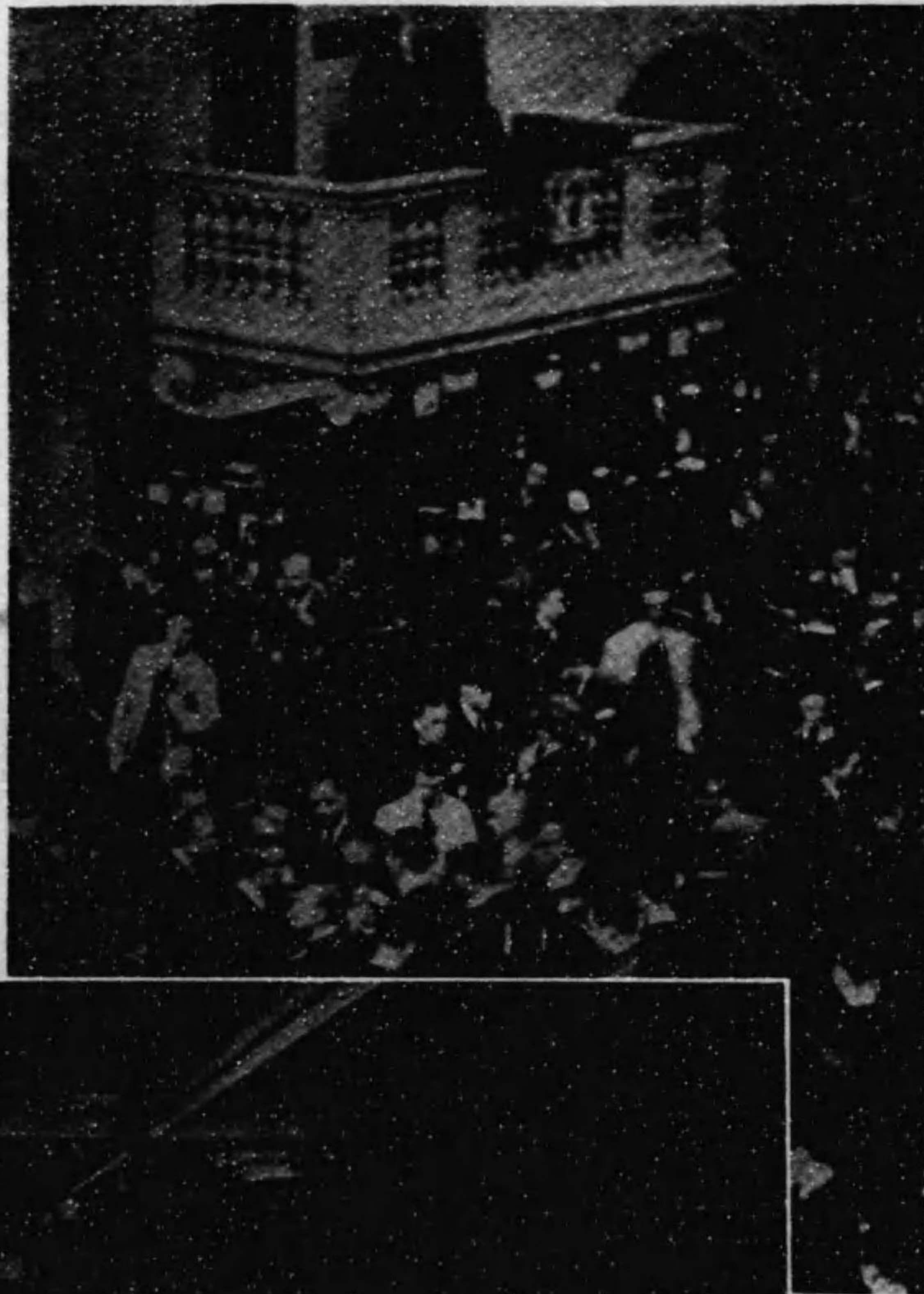
- 一、對外關係委員(Committee on Public Relations) 取引所の對外紹介に當る。
 - 一、相場及び手数料委員(Committee on Quotations and Commissions) 相場に關する總べての問題を處理し、チツカー設備の申込みに對しその可否を決定する。又取引所の手数料規定を施行し、仲買組合の組織を監督し、又必要と認める場合には會員が或る個人を雇傭する事を禁ずる。
 - 一、證券委員(Committee on Securities) 取引所に於て取引されたる證券の受渡しに關する規定を作製し、且つ取引所の規定に従つて約定決済に關する問題を處理する。
 - 一、株式上場委員(Committee on Stock List) 證券上場の申請を審理し、その處理に就て理事會に勸告する。
 - 一、會議委員(Conference Committee) 各種委員其他よりの報告を聴取し、取引所の方針及び福利に關して彼等と商議し取引所にとつて有益なりと考へられる意見を理事會に進言する。
- 年次選舉 ニューヨーク株式取引所の年次總會は五月の第二月曜に行ふ。而して理事長及び會

計長(期限一ケ年)、管理委員十名(期限四ケ年)一部退職資金管理委員(五ケ年)の選挙を行ひ、管理委員及び退職資金委員の補缺選挙を行ふ。管理委員会は副理事長及び會計次長、各常任委員其他役員を選ぶ。株式清算會社(Stock Clearing Corp.)の年次總會は一月の第二水曜である。

設備の
一般

立會場の廣さは舊館の分縦百四十呎、横百十五呎、新館の分縦百六呎、横七十八呎。この廣間の中に十八ヶ所の取引『場』(Post)があり、各場で六十乃至七十種の株式の取引が行はれる。スチール株は第二番の『場』アナコンダ株、ゼネラル・モーターズ株は第四番の『場』で行はれる。廣間の北寄りにマネー・デスク(Money desk)があり、こゝでコール・マネーの貸借が行はれる。東寄りにチツカーがあり、隅には電話室がある。電話の数は二千以上、電話係千八百名以上に上る。債券取引場は西南の別室にあり、この廣さ縦百二十六呎、横五十呎である。尙取引所の従業員は千四百五十餘名、これに株式清算會社、建物會社其の他の分を合すると合計二千三百五十餘名に上る。上場株式は千百

(上) スチール
株の取引“場”



(下) 上場株相
場を各會員
事務所に通
信する室



八十七種、債券千五百四十種である。(以上何づれも一九三五年一月の統計)

一、チツカー 取引所で行はれた百株以上の取引數量及び値段はウエスターン・ユニオン電信會社のチツカーで刻々報道される。株式名は符號で、例へば一株五十ドルの値段でスチール株三百株の取引が出来た場合には "X 300" と出る。"X" はスチール株の符號である。債券のチツカーは株式のチツカーより分離して別にある。一九三四年十二月一日現在の所、株式チツカーに加入してゐるものは三千五百四十七人、債券チツカー五百六十九人で、これはアメリカ全國は勿論、カナダ、キューバをも含んで合計三百六都市に於て直接ニューヨークの相場を刻々知ることが出来るといふ便利な設備である。

一、相場部(Quotation Department) 株式取引所では一九二八年九月以來、整理委員(Committee of Arrangements)の監督の下に、取引場より證券の買値賣値を會員の事務所に通信する新相場通信制度を設けた。一九三五年一月一日現在、この通信をとつてゐる會員は二百九十九名で、これに従事してゐる取引所事務員は九十五名である。電話數二千以上、電話係千八百名以上



に上る。

清算所 株式取引所に於ける賣買取引は單に契約に止まり、これが決済は株式清算會社 (Stock Clearing Corporation) を通じて行はれる。清算會社には夜間部 (Night branch) と晝間部 (Day branch) とがあり、前者は受渡値段を標準にして單に株式の清算を行ふのみであるが、後者は夜間部が行ふ株券の受渡に伴ふ代金の清算を行ふと共に證券貸付も行ふ。使用人は一九三五年一月一日現在の所前者が九十二名、後者が二百三十六名である。

先づ夜間部からその職能を述べるに、元來ニューヨーク株式取引所に於ける取引は、日々決済 (Daily Settlement) で通常の賣買契約は翌日の午後二時十五分 (但し金曜、土曜の分は月曜の午後二時十五分) までに受渡が行はれる。尤も賣買當事者間の取極めで、現金取引、翌々日決済、買手又は賣手選擇取引 (六十日以内に一定の豫告付で隨時決済を行ふもの) なども行はれない事はない。又取引所上場證券の決済が全部こゝで行はれる譯ではなく、特に清算株と定められた主なもの丈けである。又百株以下の端株取引の決済も茲では行はれない。兎に角その日の中に取引の

出來た清算株に就ては大引後清算所の夜間部に報告せなければならぬ。然し決済は實際の取引値段によらない。清算所に於て大體大引相場を基礎に決済値段を決定し、それによつて行はれる。而して實際取引値段と決済値段との差額は會員の振り出す手形によつて決済される。

晝間部は前にも述べた如く、夜間部で行はれた受渡の代金清算を行ふ。従つて會員は清算會社に常に多額の預金を持つて居る必要がある。

株式清算會社は更に一九二九年により中央受渡部 (Central Delivery Department) を設置し、取引所に於て取引された百株單位の株式及び債券全部の受渡しを引受ける事となつた。夜間部に於て清算した残株の受渡しも茲で行はれる。

仲買人と

コール

人事構成 次に株式市場の人事構成に就て見やう。ニューヨーク株式取引所會員には仲買人 (Broker) と取引人 (Dealer or Trader) の二種があり、その區別は左の通りである。

一、仲買人 一定の手数料を取つて顧客の爲めに賣買を行ふもの。仲買人にも種々あるが、この中最も重要なものはコミッション・ブローカーで、通常一人又は數人の組合より成り、その中一人が取引所の會員となつて同商會の爲めに立會場で注文を果たすのである。又二ドル仲買人 (Two-dollar broker) なるものがあり、これはコミッション・ブローカーが一人で處理出來ない大口の注文を受けたる場合、株式賣買百株毎に手数料二ドルをとりコミッション・ブローカーの代理をつとめる。

一、取引人 取引人は他人の爲めに取引を行ふものでなく、自己の計算で株式の賣買を行ふものである。これは大體ロンドン株式取引所のジョッパに似てゐる。

この外に百株以下の賣買を行ふ端株取引人 (Odd-lot dealer)、又特殊の株を専門にしてゐる特殊株仲買人 (Specialist) なるものがあるが、これらに就ては改めて説明しやう。

コール・ローン 元來證券擔保貸付には定期貸 (Time loan) と要求拂貸付 (Call loan) とがあるが、ニューヨーク株式取引所で行つてゐるのは要求拂貸付、即ちコールローンのみである。これ

はニューヨーク株取に於ては日々決済が行はれる結果、一日限りの資金を必要とするに至つたのである。以前は貸手、借手の仲買人が場に集まつて所謂マネー・クラウド (Money crowd) を構成し、株式の賣買と同じやうにコール資金の貸借を行つてゐたが、大戦以來立會場内にマネー・デスク (Money desk) が出來、茲で貸借が行はれる。その方法は、或る銀行が百萬ドルの遊資をコール市場に出さうと思へば、株式仲買店にその旨通知する。仲買店は場内の代表者にそれを通知し、その代表者はこれをメモに書いてマネー・デスクへ出す。一方借手の仲買人も借入れ方を傳票に書いて申込む。これによつて係員はコールの需給状態を判斷し、當日の標準利率を決定するが、繼續利率 (Renewal rate) といふのが之れである。但し之は單に標準となるもので、當事者間の相談でこれより高くも安くも決められる事は勿論である。

取引の

實況

然らば顧客の株式賣買の注文は如何なる方法によつて取扱はれてゐるか。委しい事は省略して茲では極く大要を紹介し度い。

解りよくする爲めに、假りにAといふ人がニューヨーク株式取引所會

員ジョン・ドウ商會のシカゴ支店に来て、スチール普通株百株を時價で買はんとして居るとする
 A氏はその仲買人より貰つた注文書に書入れを済まし
 スチール株百株を市場の成行相場で買ふやうに指圖す
 る。その場合A氏の注文は注文係によつて書取られ、
 仲買人の専用電話によつてニューヨークの本店に電送
 される。ニューヨークの本店ではこの注文を受取ると
 直ちに専用電話で取引場に轉送される。

立會場 取引所場内の電話係は本店から注文を受取
 ると、それを注文傳票に書記す。同時に電話室内のボ
 タンを押すと、大廣間の壁にかゝつてゐる大きな番號

報知板の蓋が開いて或る番號が現はれる。この番號は
 ドウ商會の場内代表者を指示するもので、代表者に電話室まで来いといふ事を意味するのである

紐育株取引条件

上場	品目	株式	債類
立會	時間	午前	10.00
寄平	附日	午後	3.00
土曜	大引	正午	12.00
取引	單引		
株債	位式		100株
相場	券券		1.000弗
	刻み(各)		1/8 弗

扱て注文を受取つた仲買人は、その時に於ける最も安い値段でスチール株を百株買はなければならぬ。場内に十八ヶ所の取引『場』がある事は既に述べた通りでスチール株は第二番の『場』に於て行はれ、従つて茲がスチール株の市場となる。仲買人がA氏の注文を受取つて第二番の『場』に來て見ると、五十ドル四分一(一株に付)でスチール株の賣り物があり、それに對し他の仲買人が五十ドル八分一の買値を付けてゐた。

ドウ商會の代表者はA氏の爲めに成行相場、即ちその時に買付け得る最も安い相場でスチール株を買入れる権限を與へられてゐるので、彼は五十ドル四分一で賣り物を出してゐる仲買人に向つて『買ひ』と叫ぶ、それで取引が出来た事になるのである。この場合何等文書による取極めもなく、如何なる種類の覺書も交換されない。立會場内に於ける賣買契約は——それは時に一日に總計五百萬株にも上る事があるが——總べて斯う云ふ風に形式抜きで行はれるのである。而かもその契約は常に忠實に履行されてゐる。

取引の報告 斯くてドウ商會の代表者は五十ドル四分一でスチール株百株をリチャード・ロウ

商會(相手側の仲買人)より買ったといふ覺書をその電話係に渡す。電話係は直ちに電話でこの旨を本店に通知し、本店は更に電信でそれをシカゴ支店に傳達する。斯のやうに總て頗る迅速に運び、普通の場合サンフランシスコの仲買人が受取つた註文が三千マイル隔つたニューヨーク株式取引所で果され一時間以内に顧客の許に返事が来る事は珍らしくない。尤も市場が非常に活氣を帯びてゐる際は、機能的に見ても斯様に迅速に行かない。取引所會員たる仲買店の支店及び代理店は殆ど全國の相當の都市にある。従つて取引所上場株を賣買せんとする全國の投資者は總べて、事實上、ニューヨーク株式取引所の場内に集まる譯で、この意味に於てニューヨーク取引所は全國的の市場である。

受渡し及支拂 A氏がドウ商會を通じて行つた買約定は、規定に従つて翌日の午後二時十五分までに果たさなければならぬ。即ちドウ商會シカゴ支店はこの時間迄に『當商會はニューヨーク株式取引所の規定に基き貴下の勘定と危険に於て一株當り五十ドル四分一でスチール普通株百株を買つた』といふ意味の覺書を郵送し、A氏はスチール株百株に對する證書と引換へに代價五千

二十五ドルを支拂はなければならぬ。

手数料 若しA氏が轉賣の爲めでなく、直接引取る積りで買ったのであれば買入れ總額の外に仲買人手数料を支拂はなければならぬ。又A氏が單に株式名義丈け自分のものとして置かうと思へば、シカゴ支店は本店にその旨通知する。而して後日A氏がその株券を賣る場合には、仲買人はこの手取り金から手数料と聯邦及び州の讓渡税を差引いた額をA氏に渡すのである。

マーチン A氏が五十ドル四分一でスチール株百株を買つた場合、Aは代價を支拂ふ丈けの資金は持つてゐるものと見る事が普通である。然し斯んな場合も假定される。五千二十五ドルが必よなのだが、A氏は二千五百ドルしか持つてゐない、而かも百株買ひ度いと思ふ場合である。即ち近く相場が騰貴すると信するので、その株を轉賣して利益を擧げる事も出来るし、乃至は投資物としても絶好のものであるから、不足金は今後隨時貯金から支拂ふ事としてそれを買ひ持ちし度いと思ふ場合である。こう云ふ場合に於ても取引所としては二つの取引の間に何等の差違を認めない。取引場に於て買ひ付け、契約の翌日に受渡し及び支拂を行ふ事、兩者の場合とも全く同

一である。差違がありとすれば、それは顧客と仲買人との間に於てある。第一の場合に於ては顧客は株式の代價と手数料を仲買人に支拂ひ、仲買人は證券を顧客に引渡しそれで取引は終るのである。然し乍ら第二の場合に於てはA氏は仲買人に對して僅か二千五百ドル（これをマーチンと呼ぶ）を手渡したのみで、尙仲買人に二千五百二十五ドルの借りがある。この場合に於ては仲買人は證券をA氏に渡さず、借金の擔保として證券を手許に保持する。A氏も二千五百廿五ドルの借金を必要とするので、その爲め財産を借金支拂の擔保として債權者に委ねるであらう。

取引の單位 取引所に於ける取引の單位は百株である。若し百株以下、例へば十七株を買はんとする場合は稍々手続きが異なる（これに就ては後で説明する）。取引の單位を百株としたのは、實際上取引所に於ける賣買出來高が多く、従つて取引の處理及び報告上の勞力節約をする爲めにも又誤りを少くする爲めにも取引單位を高くした方が便利なる爲めである。（只例外として比較的取引の少い諸株の取引單位は十株に引下げてある。）而して公開市場に於ける賣買は百株單位若しくはその倍數宛行はれ、チツカー通信に報ぜられるのは公開市場に於ける取引のみである。

端株取引 然し乍ら右の外に百株以下の端株取引も相當に行はれる。これは報告されないが、然し時には報告されてゐる取引總額の三分之一にも達することもあるらしい。然らば端株取引は如何にして行はれるかといふに、今假りにA氏がスチール株十七株の買ひ注文を出したとする。これが立會場の電話に達するまでは百株以上の注文の時と異らないが、そこからは取扱ひ方が違ふのである。取引所會員中には端株取引を専門にしてゐる店があるが、これらの仲買人は一般公衆とは直接取引しない。公開相場より若干の利鞘を得て他の仲買人と九十九株以下の賣買を行ふのである。電話係が本店から注文を聞くと、それを端株仲買人の名入りの便箋に注文を書入れ氣送管係に渡す。（電話室の所から各取引『場』に氣送管の連絡がある。）氣送管係は右の注文書を織りたゞいで圓筒に入れ氣送管を通じてスチール株の取引される『場』へ送る。そこには係が居てその注文書を指定の端株仲買人の代表者に渡す。斯くて十七株の『成行注文』を受取つた仲買人は次に百株以上の取引が行はれるのを待つ。而して若し五十ドル四分一で取引が出来たとすれば、右端株仲買人はドウ商會に對し五十ドル八分三でスチール株十七株賣る旨を通知するのである。

八分二ドルはこの取引に於ける右仲買人の利鞘である。

特殊株仲買人(Specialist) 以上の場合に於て『成行』買ひといふのはA氏の注文が市場に達した時に於ける出来る丈け安値で買つて呉れといふ意味である。然しA氏が、少し待てば現在よりも未だ安値で買へると思ふ場合、例へば四十八ドル以下に買つて呉れと指圖する事がある。その際A氏は仲買人に對し四十八ドルでスチール株百株を買ふやう G. T. C. (Good 'till cancelled) 追つて取消すまで有効の意)の注文書を渡すのである。この指値は市場相場より二、三ドル安いので、相場がこの値頃まで下つて来るまでには數日かゝるか、又は數週間かゝるか判らない。所が仲買人の方にと外に市場相場又はこれに近い値段の注文を多額に擁してゐるので、四十八ドル指値注文の方に絶へず氣を配つて居る譯には行かない。故に仲買人は普通の場合指値注文はその専門仲買人に渡すのである。即ち四十八ドル指値注文が電話係の所に到着すると、その電話係は氣送管によつてスチール株の取引される『場』に送り、そこでスチール株の専門仲買人に渡される。この特殊仲買人は常に一つの『場』の所に居り、他の仲買人に代つてその『場』に於て取引さ

れる株式の注文を果すのである。A氏の注文を受取つた特殊株仲買人はそれを帳簿に記入し、A氏から取消しが来るか、或はA氏の欲する値頃まで相場が下がり注文が果されるまでは帳簿に残つてゐる。

不活潑部と

債券市場

『不活潑』株式部 ("Inactive" Stock Department) 普通の株式取引單

位は百株であるが、一九二七年一月三日より取引の少い諸株に對する單位を十株に引下げた。而してウォール街十一番地の建物の東北部に取引

『場』第三十番(Post 30)を設け『不活潑』株式の取引を行はしめる事とした。この『場』に於て取引さるべき株式は整理委員 (Committee of Arrangements) に於て決定する。不活潑株式の取引方法は不活潑債券(債券市場の項参照)のそれと同様で、賣買注文はカードに書入れ、株式によりエー・ビー・シー順で欄に入れて置く。而して同値の注文は一つに纏めて綴ちて百株以上になるのを待つのである。このガードの處理は取引所の事務員が當る。尙一九三五年一月一日現在の不活潑株

は二百七十七種であつた。

債券市場 ニューヨーク株式取引所はその初期にあつては主として債券の市場であつた。即ちウォール街の鈴懸の樹の下に仲買人の小さい一團が集まるに至つたのは一七九〇年議會によつて許可された公債の取引の爲めであつた。債券取引を株式取引より分離するに至つたのは一九〇二年からで、その結果所謂**ボンド・クラウド** (**Bond crowd**)なるものが出来た。一九一九年に自由公債取引を一般債券より分離し、一九二二年に、外國債券を一般債券より分離し、一九二二年より工業社債を取引の少**ブック・ボンド** (**Book bonds**)と**フリー・ボンド** (**Free bonds**)に分離した。現在の債券取引場所は西南隅の別室にあり、自由公債の取引を行ふ**パーティー・クラウド** (**Liberty crowd**)、外國債券の取引を行ふ**フォーレン・クラウド** (**Foreign crowd**)、取引の少**ブック・クラウド** (**Active crowd**)の四部分に分れて行ふてゐる。尙一九三四年の債券取引總額は額面價格で三十七億ドルに上つてゐた。

(終り)

ウォール街

定價五拾錢

昭和十一年一月五日印刷
昭和十一年一月十日發行

大阪府北區中之島二丁目二十五番地
著作人 **堀 本 義 隆**
發行人

大阪府西區川區堀江上二丁目三十七番地
木下洋行合資會社代表者
印刷人 **木 下 正 人**

東京市京橋區銀座西八丁目九番地

社團 **同盟通信社**
法人

大阪府北區中之島二丁目二十五番地

發行所

本小冊子の寸法は商工省工業品規格統一調査の決定せる『紙の仕上げ寸法規格』中のB列6番(138mm×182mm)に準據したものであります

外國經濟電報

「同盟通信」の外國經濟電報は正確・迅速なる相場と豊富なる情報、統計を供給し我國經濟界の羅針盤である。通信の種類は左の通り。
 爲替、株式、棉花、生糸、金物、護謨、砂糖、小麥、油脂、船舶、滿洲特産物、料金各一種一ケ年金千圓（但棉花は千五百圓）

海外經濟解説

同盟通信社が世界的通信網に依つて蒐集する經濟情報と各國から集まる新鮮な資料に依り世界經濟の動きを簡明に解説せるもの。忙がしい實業家は之れにより簡単に世界各國の經濟近狀の要點を掴むことが出来る。
 毎日 二頁乃至四頁を郵送料金 一ケ年 金五拾圓

國際經濟週報

「同盟通信」へ入電せる海外相場、統計、情報を一週分取纏め、且内外の重要政治經濟問題を統整掲載す。調査、研究、統計、觀測の絶好資料
 毎週木曜日發行、四六倍版五十餘頁
 購讀料 一ケ月壹圓、半年五圓五拾錢

國際寫眞新聞

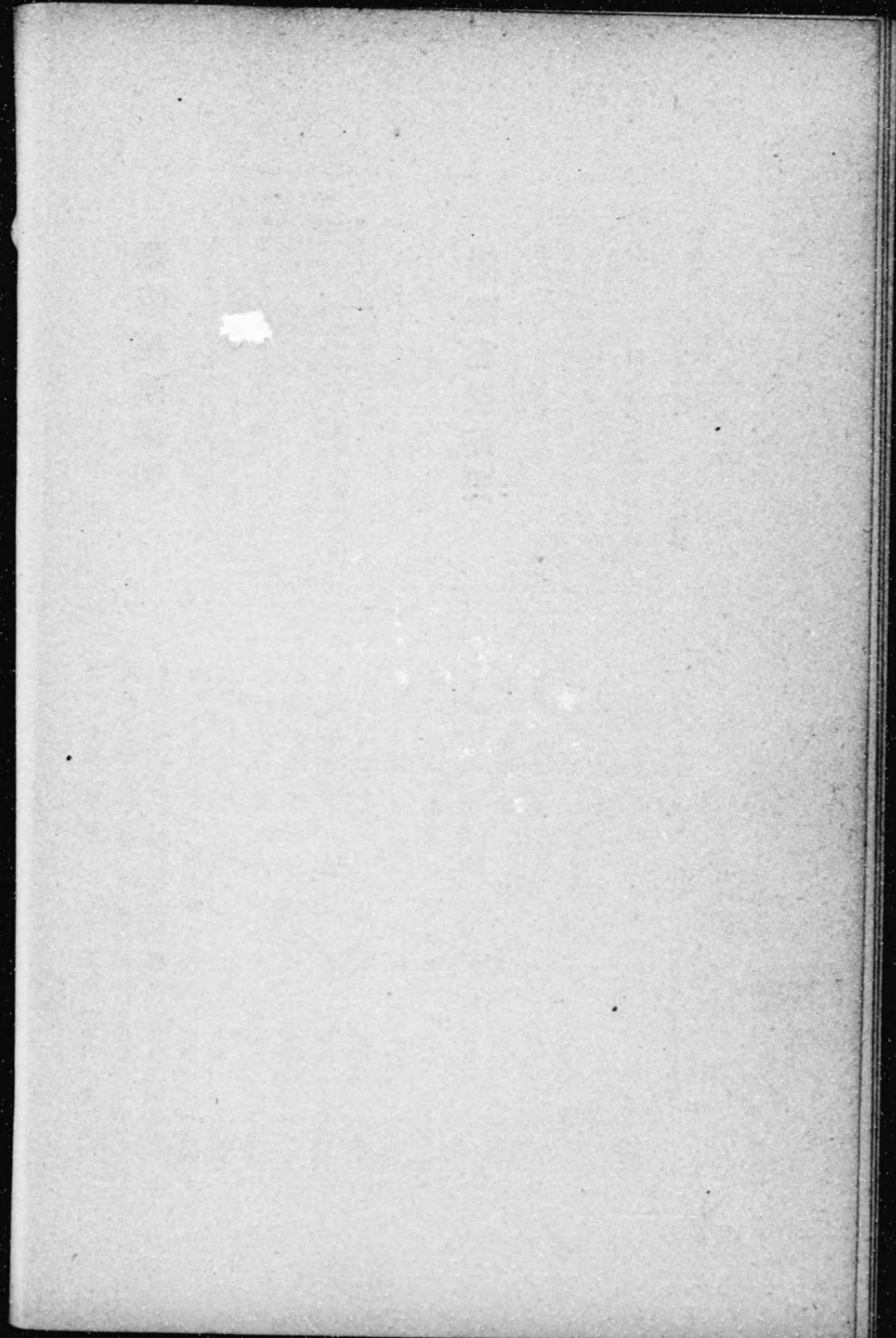
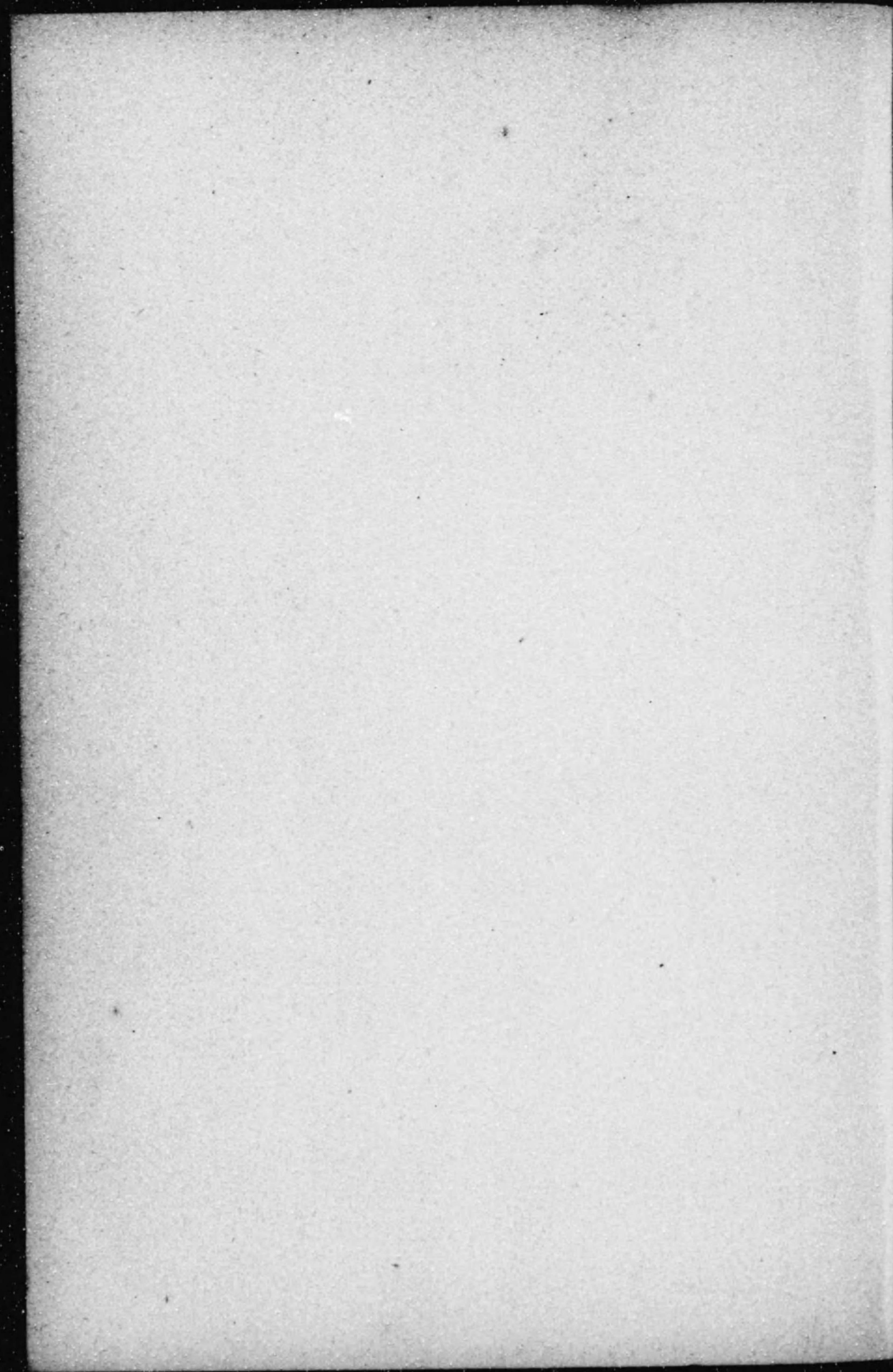
讀む新聞から見る新聞へ！
 「同盟通信」の世界ニユース網から日々集まる最新の内外寫眞を編輯せる眺めて面白き寫眞新聞。
 毎月四回發行、四六倍版光澤紙每號四十八頁
 購讀料 一部廿五錢、一ケ月八拾錢、一ケ年九圓

社団法人 同盟通信社

東京	本社	京橋區銀座西八丁目	(銀座貳一貳一)
大阪	支社	北區中之島二丁目	(北濱 九七五)
横濱	支局	中區太田町二丁目	(本局二四二九)
名古屋	支社	西區圓井町四丁目七	(本局二四三〇)
京都	支局	烏丸通丸太町下ル	(上 五八四八)
神戸	支局	神戸區海岸通五	(三宮一〇貳貳)
岡山	支局	西 中山 下	(岡山三九一七)
廣島	支局	大手町二丁目二三	(廣島五六四八)
下關	支局	東南部 町三三	(下關一四五四)
關門	支社	門司市湊町海岸通	(門司 六五二)
福岡	支局	天神 町二八	(福岡一六二五)
長崎	支局	西濱 町七二	(長崎 一〇二)
桐生	支局	永樂町三丁目	(桐生二〇五一)
足利	支局	雪輪町二四七二	(足利 八八二)
前橋	支局	相生 町三一	(前橋一八四四)
岡谷	支局	長野縣諏訪郡岡谷	(岡谷二七四六)
松山	支局	西町一〇番地一七	(松山一六三九)

高松	支局	四番丁一三	(高松三九〇九)
濱松	支局	元城 町二五	(濱松二二四六)
豊橋	支局	花田 町石塚	(豊橋五四六〇)
福井	支局	佐久良上町九八	(福井一三四二)
金澤	支局	南 町六二	(金澤三七〇〇)
富山	支局	總曲輪三三九	(富山二一四九)
新潟	支局	寄居町三五五	(新潟三〇六六)
仙台	支局	東三番丁一七	(仙台一七四四)
青森	支局	米町三丁目三四	(青森一三五七)
函館	支局	地藏 町一四	(函館二七〇二)
台北	支局	本町三丁目一	(台北三九九六)
京城	支局	南大門通一丁目九〇	(光化門 二六六〇)
奉天	支局	淀 町八	(奉天三九一五)
新京	支局	北 門 外	(新京三〇八七)
哈爾濱	支局	埠頭區斜紋二階街五	(哈爾濱 四九二)
大連	支局	紀伊 町五二	(大連七六四一)
上海	支社	愛多亞路三四號	(上海 一四六〇九)

外に支那、歐米主要地に支局又は通信員を置く



大阪市北區中之島二丁目

社
國
法
人
同
盟
通
信
社

東京市京橋區銀座西八丁目

100

